

コロナ禍での遺愛吹奏楽局の活躍

9月に入り、日中はまだまだ気温が高くなりますが、朝晩の気温は20℃を下回り、過ごしやすくなってきました。7月下旬から9月初めまで、遺愛吹奏楽局はコロナの影響を受けつつも、素晴らしい演奏を続けました。

7月30日（土）第67回北海道吹奏楽コンクール函館地区大会

A編成5回連続金賞受賞（5回連続全道大会出場）

8月 1日（月）函館市市制施行100周年記念式典で演奏

8月 5日（金）遺愛吹奏楽局定期演奏会（函館市民会館大ホール）

8月25日（木）第67回北海道吹奏楽コンクール北海道大会（札幌キタラ）

A編成5回連続全道金賞受賞

9月 1日（木）函館クルーズターミナル完成記念式典で演奏

特に8月1日の市制100周年記念式典の演奏は、出席者の多くの方々の感動をよび、後日、函館市長が自ら遺愛を訪ねて、直接お礼の言葉を述べて下さいました。

また、8月5日の遺愛吹奏楽局定期演奏会では、顧問の高久先生が病で急に参加できず、指揮初体験の佐々木花菜先生が代役を務め、見事重責を果たしました。高3生を中心に見事な演奏およびパフォーマンスをし、ある年配男性から1万円の価値（入場料は1,000円）があった演奏会でしたと最高の誉め言葉をいただきました。

新型コロナの影響で、第67回北海道吹奏楽コンクール全道大会に向けては1週間しか練習ができませんでした。しかし本番の全道大会では、集中力をもって素晴らしい演奏をやりとげました。僅差で惜しくも名古屋の全日本吹奏楽コンクールは逃しましたが、ほとんどの審査員が高い評価を下しました。

その勢いで、**11月12日（土）『第24回全日本高等学校吹奏楽大会in横浜』（会場：横浜みなとみらいホール）に北海道吹奏楽連盟推薦で全局員で参加してきます。**過去2回参加の時も上位入賞できたので、今年は最高位を目指して頑張る決意です。

2022年9月3日（土）



テープカット



ファンファーレ



クルーズターミナル完成式出席者の前で演奏（高校3年生だけの最後の演奏）